

平成30年度

# 事業報告

平成30年4月 1日から

平成31年3月31日まで

公益財団法人 太田記念美術館

## I 公益目的事業

### 1. 浮世絵に関する展覧会の企画および開催

#### 1) 企画展示

太田記念美術館において下記のとおり展覧会を開催した。開館日数263日、特別展2回、企画展5回。年間入館者数は、当初の目標である69,000名に対し、45,678名多い114,678名(目標対比166%)。昭和55年に開館以来の最多入館者数記録となった。平成29年度の年間入館者数は、過去最多記録の92,354名であったが、その記録をさらに22,324名上回った。

中でも、「小原古邨」展は42日間の開催で入館者数は30,613名にのぼり、平成19年1・2月開催の大規模海外展「ギメ東洋美術館所蔵 浮世絵名品展」(43日間47,396名)に次ぐ記録となった。

平成 30年度	展覧会名	会期	開館 日数	入館者数(人)				
				有料	無料	総計	1日平均	うち小中生
企画展	広重 名所江戸百景	前期 4/ 1 ~ 4/26 後期 5/ 1 ~ 5/27	46	16,343	742	17,085	371	494
特別展	江戸の悪 PART II	前期 6/ 2 ~ 6/27 後期 6/30 ~ 7/29	48	16,815	1,477	18,292	381	420
企画展	落合芳幾	8/ 3 ~ 8/26	21	5,195	439	5,634	268	321
特別展	没後160年記念 歌川広重	前期 9/ 1 ~ 9/24 後期 9/29 ~10/28	47	20,231	1,430	21,661	461	336
企画展	花魁ファッション	前期 11/ 2 ~11/25 後期 11/30 ~12/20	39	9,750	325	10,075	258	101
企画展	かわいい浮世絵 おかしな浮世絵	1/ 5 ~ 1/27	20	10,902	416	11,318	566	290
企画展	小原古邨	前期 2/ 1 ~ 2/24 後期 3/ 1 ~ 3/24	42	29,959	654	30,613	729	216
合計			263	109,195	5,483	114,678	436	2,178

入館料 企画展：一般 700円、大高生500円、中学生以下無料  
特別展：一般1000円、大高生700円、中学生以下無料

### 2. 浮世絵その他の美術品の収集、保存

#### 1) 美術品の購入

収蔵品の体系的、通史的なバランス、展示計画を考慮の上、版画を79点購入した。

#### 2) 所蔵品の修復

今年度は所蔵品の修復は行わなかった。

#### 3) 収蔵品の保存

浮世絵版画は光に弱く、展示により退色が進むため、作品の展示期間を厳正に管理した。また、温湿度管理、照度管理も厳格に行い、作品保護に努めた。

### 3. 浮世絵美術ならびに江戸文化の啓蒙普及活動

#### 1) 講座等の開催

##### ① 下記の講座を開催した。

##### ア) 江戸文化講座

浮世絵にとどまらず、江戸時代全般へ視点を広げ、さまざまな分野の専門家から江戸の文化を学ぶという趣旨の下、下記の連続講座(全3回)を開催した。

受講料:全3回5,000円(パスポート会員3,000円)、受講料に展覧会入場料含む。

##### ◇第1回 ジャポニスムとは? フランク・ロイド・ライトとアンリ・リヴィエール

講師:日本女子大学名誉教授 及川茂

	開催日	演題	受講者数
第一講	5月12日(土)	「ジャポニスムとは?」	30名
第二講	5月19日(土)	「フランク・ロイド・ライトの浮世絵収集と建築に与えた影響」	28名
第三講	5月26日(土)	「アンリ・リヴィエールの『エッフェル塔三十六景』」	24名

##### ◇第2回 現代に生きる江戸のファッション

講師:独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所 無形文化遺産部

主任研究員 菊池理予

	開催日	演題	受講者数
第一講	12月1日(土)	「江戸ファッション概論 -町人女性はおしゃれか?-」	43名
第二講	12月8日(土)	「江戸の粋 -小紋-」	42名
第三講	12月15日(土)	「江戸の華 -友禅染-」	39名

##### ◇第3回 落語と浮世絵で楽しむ江戸文化

講師:落語家 落語芸術協会所属 雷門 小助六

	開催日	演題	受講者数
第一講	2月2日(土)	「江戸の人気イベント① -川開き」	52名
第二講	2月9日(土)	「江戸の人気イベント② -花見」	48名
第三講	2月16日(土)	「江戸の人気イベント③ -お祭り」	56名

##### イ) 夏休み子ども講座

小中学生とその保護者を対象に、下記の講座を開催した。参加費は無料。

開催日	演題・内容	参加者数
8月18日(土)	夏休み子ども講座「浮世絵をつくってみよう」 ワークショップ参加者が、摺り師指導の下、実際に浮世絵版画の摺りを体験し、その制作工程を学んだ。 協力:公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団	21組 42名

##### ウ) 特別講座

◇「江戸の悪 PART II」展に関連して、「悪」をテーマに当館と共に多分野連携展示を行う施設のキュレーターを招き、下記の特別講座を開催した。受講料は無料。

多分野連携展示詳細については「3 浮世絵美術ならびに江戸文化の啓蒙普及活動」のうち、他館との連携の項(7頁)に記載。

開催日	演題・講師	受講者数
4月20日(金)	江戸の悪 PARTⅡ展 プレイベント 悪トーク ―多分野連携展示「悪」を語る 第1回 國學院大學准教授 深澤太郎 ヴァニラ画廊キュレーター 田口葉子 (司会)当館学芸員 日野原健司	31名
5月6日(日)	江戸の悪 PARTⅡ展 プレイベント 悪トーク ―多分野連携展示「悪」を語る 第2回 東洋文庫学芸員 岡崎礼奈 国立劇場調査養成部主席芸能調査役 石橋健一郎 当館学芸員 渡邊晃 (司会)当館学芸員 日野原健司	49名

◇「落合芳幾」展に関連して、下記の特別講座を開催した。受講料は無料。

開催日	演題・講師	受講者数
8月19日(日)	「落合芳幾の生涯と画業」 当館学芸員 日野原健司	115名

◇「花魁ファッション」展に関連して、下記の特別講座を開催した。受講料は無料。

開催日	演題・講師	受講者数
11月24日(土)	トークイベント「吉原遊廓を歩く―江戸と平成」 遊廓家・カストリ書房店主 渡辺豪	130名

◇「小原古邨」展に関連して、下記の特別講座を開催した。受講料は無料。

開催日	演題・講師	受講者数
3月9日(土)	「小原古邨 ―いのちきらめく瞬間」 中外産業(株)美術担当 小池満紀子	100名

◇若手の浮世絵研究者の育成を目的として、下記の特別講座を開催した。受講料は無料。

開催日	演題・講師	受講者数
4月21日(土)	「浮世絵グローバル化― ―江戸の浮世絵と、大正・昭和の西洋人新版画作家たち」 慶應義塾大学大学院博士課程 永谷侑子	81名
3月20日(水)	「鳥文斎栄之の画業とその錦絵・肉筆画の魅力」 浮世絵研究家 染谷美穂	39名

(敬称略、肩書きは講座開催当時)

エ)学芸員によるスライドトーク

展示作品をより深く理解し、浮世絵を身近に感じてもらうことを目的として、担当学芸員によるスライドトークを下記のとおり開催した。参加費は無料。

展覧会名	開催回数	受講者数
広重 名所江戸百景	6回	521名
落合芳幾	3回	195名
花魁ファッション	5回	293名

展覧会名	開催回数	受講者数
かわいい浮世絵 おかしな浮世絵	6回	530名
小原古邨	11回	1032名
合計	31回	2571名

## ② 日曜映写会の開催

企画展会期中の日曜日に浮世絵の歴史、伝統文化を紹介する映像資料の無料映写会を開催した。

上映内容 『浮世絵 江戸文化の精華』(制作:太田記念美術館) 他  
 年間上映回数 56回  
 観覧者総数 1,716名

## 2) 青少年への教育普及活動

青少年への教育普及活動の一環として、美術鑑賞の機会を幅広く提供するため、中学生以下の美術館入場料を引き続き無料とした。また、教育機関の美術鑑賞教育に協力する等、浮世絵美術の教育普及に努めた。

## 3) 年間パスポート制度

来館者へのサービス向上および浮世絵美術の普及を目指し、「太田記念美術館年間パスポート」制度を引き続き実施した。年会費7,000円。平成30年度会員数は516名であった。

会員証提示により、有効期間内の展覧会期中、何度でも入館することができるほか、絵はがき等のオリジナルミュージアムグッズおよび有料講座受講料の会員割引、特別展毎に招待券を2枚贈呈、展覧会・催事案内送付等の特典を提供している。

## 4) 館外協力

### ① 教育機関等への協力

青少年に対する浮世絵美術の啓蒙・教育を目的として、教育機関の校外学習を受け入れた。また、調べ学習等への対応や、学芸員による展示解説、講義等、美術鑑賞教育を行った。主な内容は下記のとおり。

実施日	教育機関名・人数	内容
7月 1日(日)	お茶の水女子大学 12名	展覧会解説
8月25日(土)	文京学院大学 20名	展覧会解説
1月 9日(水)	筑波大学 15名	美術館概要、展覧会解説
1月16日(水)	青山学院初等部 120名	図工科鑑賞授業
1月20日(日)	実践女子大学 7名	展覧会解説

### ② 他機関への協力

美術品の貸出を下記のとおり行った。

貸出先	展覧会名	会期	貸出作品・点数
大阪市立美術館	江戸の戯画 一鳥羽絵から北斎・国芳・暁斎まで	H30. 4.17～ 6.10	版画 14点 版本 2点 扇 1点
台東区立一葉記念館	「ゆく雲」の世界と一葉の紡いだ手紙	H30. 4.24～ 6.24	版画 2点

貸出先	展覧会名	会期	貸出作品・点数
横須賀美術館	集え！英雄豪傑たち	H30. 4.28～ 6.17	版画 1点
すみだ郷土文化資料館	隅田川花火の390年	H30. 5.28～ 8.26	版画 2点
静岡県 富士山世界遺産センター	富士山絵画の正統 —19世紀狩野派の旗手 伊川院栄信と晴川院養信	H30. 9.22～11.25	版画 1点 版本 1点
サントリー美術館 山口県立美術館	扇の国、日本（巡回展）	H30.11.28～H31. 1.20 H31. 3.20～R 1. 5. 6	版画 1点 版本 1点 扇 28点
森アートセンターギャラリー	新・北斎展 HOKUSAI UPDATED	H31. 1.17～ 3.24	版画 1点 肉筆画 7点

### ③ 調査研究依頼への協力

収蔵品の特別観覧の申請に対し、下記のとおり5件の研究に協力した。

観覧日	観覧者	調査内容
4月10日(火)	台東区立一葉記念館 1名	水野年方 版画2点
9月 1日(土)	サントリー美術館 2名	酒井抱一他 扇28点
2月28日(木)	大英博物館 2名	葛飾北斎 版画11点
2月28日(木)	大分県立美術館 1名	歌川豊春 肉筆画4点、版画37点、扇2点、版本2点
3月14日(木)	町田市立国際版画美術館、十文字学園女子大学 計2名	喜多川歌麿他 肉筆画1点、版画9点

### 5) 生涯学習活動への対応

生涯学習センター等の民間組織、団体見学者等に対して学芸員が下記のとおり浮世絵の概要、展示解説等を行った。

展覧会名	人数
広重 名所江戸百景	1団体 17名
花魁ファッション	2団体 44名
小原古邨	2団体 32名
合計	5団体 93名

### 6) 広報活動

#### ① マスメディア

・下記展覧会において記者内覧会を開催した。

「江戸の悪 PART II」展

「落合芳幾」展

「没後160年記念 歌川広重」展

「小原古邨」展

・特別展「江戸の悪 PART II」展、「没後160年記念 歌川広重」展において、美術関係者を招待し、特別内覧会を開催した。

・展覧会ごとにプレスリリースを作成し、マスコミ各社へ送付した。

・浮世絵関心者層の増加、美術館の認知度向上および展覧会のPRを目的とし、新聞、テレビ番組、雑誌等の取材協力を積極的に行った。主な協力内容は下記のとおり。

掲載・放送日	媒体	内容
5月 8日(火)	東京新聞 朝刊	「おとなのための美探訪」欄 美術館および「広重 名所江戸百景」展を紹介
6月13日(水)	The Japan Times	「江戸の悪 PART II」展を紹介
6月17日(日)	NHK Eテレ 日曜美術館アートシーン	「江戸の悪 PART II」展を紹介
6月25日(月)	日本経済新聞 朝刊	文化往来欄 都内6施設による「多分野連携展示《悪》」を紹介
7月2日号	AERA	都内6施設による「多分野連携展示《悪》」を紹介
8月24日(金)	毎日新聞 夕刊	「落合芳幾」展を紹介
9月18日(火)	朝日小学生新聞	「没後160年記念 歌川広重」展を紹介
10月 2日(火)	読売新聞	ぎやらいいモール欄 「没後160年記念 歌川広重」展を紹介
10月26日(金) 10月28日(日)	BS11 TOKYOMX	「フランス人がときめいた日本の美術館」 第4回 浮世絵の世界へ 『太田記念美術館』(東京・原宿) 美術館の活動を紹介
2月17日(日)	産経新聞 朝刊	「小原古邨」展を紹介
3月 6日(水)	NHK 首都圏ニュース	「小原古邨」展を紹介

・美術館の周知および入館者増加を図るため、下記のとおり新聞広告を掲出した。

「広重 名所江戸百景」展	東京新聞朝刊
「江戸の悪 PART II」展	東京新聞朝刊
「没後160年記念 歌川広重」展	東京新聞朝刊
「小原古邨」展	毎日新聞東京版朝刊

・写真資料の提供を希望するテレビ番組、美術関連書籍、雑誌等に対してその利用目的等を確認の上、貸出を行い、江戸文化、浮世絵美術の普及に努めた。

② 印刷物の製作・配布

- ・平成30年度展示案内を館内にて配布した。
- ・各展覧会のポスター・チラシおよび江戸文化講座、夏休み子ども講座のチラシを製作し、館内にて掲示・配布するとともに、美術館、博物館、教育機関、公共機関等への配布を行い、展覧会、催事の周知に努めた。
- ・第35回浮世絵研究助成の募集要項チラシ(日本語/英語)を作成し、館内にて掲示・配布するとともに、内外の美術館、博物館、教育機関、公共機関等へチラシ配布を行い周知に努めた。

③ ウェブサイト、ソーシャルメディアの運用

- ・ウェブサイトにて、館案内、展覧会、講座等の情報を展開し、年間を通して随時情報の更新を行った。
- ・「江戸の悪 PART II」展において、当館初の試みとして展覧会公式サイトを設け、展覧会情報、見どころ、関連イベント、他館との連携情報等を発信し、来館者誘致に向けた広報活動を展開した。
- ・口コミによる情報の拡散を狙い、Twitterを活用して展覧会情報、催事等、美術館ウェブサイトと相互に連携した情報発信を積極的に発信することにより、集客力の向上および若年層への認知度向上に努めた。  
Twitterフォロワー数は平成31年3月31日現在114,208名。

7) 他館との連携

- ① 「江戸の悪 PART II」展において、下記のとおり、都内の5つの施設と連携し、「悪」をテーマに多分野連携展示を行った。

施設名	展覧会名	会期
東洋文庫ミュージアム	悪人か、ヒーローか Villain or Hero	6月 6日～ 9月 5日
國學院大學博物館	悪—まつろわぬ者たち—	6月 1日～ 8月 5日
ヴァニラ画廊	HN【悪・魔的】コレクション～evil devil～	5月30日～ 7月 1日
国立劇場伝統芸能情報館	悪を演る—歌舞伎の創造力—	6月 2日～ 9月24日
国立演芸場演芸資料展示室	悪を演る—落語と講談—	4月 1日～ 7月22日

当館の運営する「江戸の悪 PART II」展公式サイトにおいて「多分野連携展示《悪》」のページを設け、連携施設の展覧会情報を紹介するとともに、「多分野連携展示《悪》」の単独チラシを製作して6施設の展覧会情報を掲載し、連携情報の周知に努めた。また、入館料の相互割引、ポスターの相互掲出、チラシの設置等、広報協力を行った。

- ② 「落合芳幾」展において、練馬区立美術館にて開催の「芳年 激動の時代を生きた鬼才浮世絵師」展(8月5日～9月24日)と入館料の相互割引、ポスターの相互掲出、チラシの設置等、広報協力を行った。

- ③ 「没後160年記念 歌川広重」展において、下記のとおり、4つの美術館と連携し、広重の展覧会を同時開催した。

施設名	展覧会名	会期
広重美術館(山形県)	広重が描く日本の風景	8月31日～10月29日
那珂川町馬頭広重美術館(栃木県)	大広重展—肉筆浮世絵と錦絵の世界—	7月14日～ 9月24日
静岡市東海道広重美術館(静岡県)	めいしよ広重	8月14日～11月25日
中山道広重美術館(岐阜県)	①木曾海道六拾九次之内	8月30日～ 9月30日
	②原安三郎コレクション公開 北斎と広重展	10月 4日～12月 2日



「広重没後160年記念 5館同時開催 広重展」のチラシを製作して5館の展覧会情報を掲載し、連携情報の周知に努めた。また、入館料の相互割引、ポスターの相互掲出、チラシの設置等、広報協力を行った。

#### 8) 地域との連携

- ① JR渋谷駅、恵比寿駅、原宿駅を結ぶエリアの文化施設連携事業「あ・ら・かるちゃー」に今年度も参加し、館内にて紹介冊子を配布するとともに、入場料の相互割引に協力した。また、広報担当者が運営会議等に出席し、他館との情報交換を行った。
- ② 東京都が行う外国人旅行者向け観光事業「ウェルカムカード」に引き続き参加し、施設割引特典付ウェルカムカード持参の外国人観光客に対して入場料割引を行った。
- ③ 東京地下鉄株式会社、東京都交通局の行う観光客向けサービス「ちかどく」に引き続き参加し、対象乗車券の提示により入場料割引を行った。

#### 9) ミュージアムグッズ等の制作・販売

- ① 来館の記念となり、来館者が商品購入を通じて美術に親しみ、関心を深めるためのミュージアムグッズ等を作成、販売した。また、展覧会に関連したグッズ、復刻浮世絵版画、浮世絵関連書籍等を受託販売した。当館のミュージアムショップは美術館入館受付と兼ねているため、限られたスペースの中で来館者のニーズに沿うべく、販売商品を考慮のうえ選定し、充実を図った。

今年度に制作した太田記念美術館オリジナルのミュージアムグッズは下記のとおり。

- ・絵はがき 19種
  - 通年販売：9種
  - 「江戸の悪 PART II」展：5種
  - 「小原古邨」展：5種
- ・マスキングテープ 3種
- ・クリアファイル 4種
- ・一筆箋 2種

- ② 当館発行の展覧会図録を、東京国立博物館ミュージアムショップにて引き続き委託販売した。

#### 10) その他

- ① 各展覧会毎に作品タイトル、主だった展示解説について引き続き和英表記を行い、英語版作品リストを作成した。また、英語対応の可能な事務職員が常駐し、外国人観光客の受け入れ態勢の充実に努めた。
- ② 特別展「江戸の悪 PART II」展、「没後160年記念 歌川広重」展において、会期中2回目以降の来館者に対し、リピーター向け入館料割引を実施した。

#### 4. 浮世絵研究者の育成および助成

- ① 内外の新進浮世絵研究者育成のため、第35回浮世絵研究助成を公募し、平成31年1月31日、応募10編全てを選考委員会で審査した結果、次の研究テーマ2編を入選とした。

選考委員は、竹内誠氏(東京都江戸東京博物館名誉館長)、河野元昭氏(東京大学名誉教授)、北原進氏(立正大学名誉教授)、及川茂氏(日本女子大学名誉教授)、大久保純一氏(国立歴史民俗博物館教授)の5名。選考委員の肩書きは選考会当時のもの。

入選者	入選研究テーマ	助成金
加藤 ゆずか	歙形蕙斎の「略画式系絵手本」に関する考察	500,000円
李 佳	浮世絵に描かれた女性の茶の湯についての考察	500,000円

- ② 平成31年3月刊行の『太田記念美術館紀要 浮世絵研究 第9号』に、平成28年度第33回浮世絵研究助成入選者である兼松藍子氏、コルタ・イオアン・ポール氏の、助成による研究成果に基づいた論文の寄稿を受け、掲載した。
- ③ 浮世絵研究者の育成を目的として、研究成果発表の機会を提供することにより、研究活動の支援ならびに研究者相互の交流を図るため、若手研究者2名の講演会を開催した。講演会詳細については3頁「3. 浮世絵美術ならびに江戸文化の啓蒙普及活動」のうち、特別講座の項に記載。

## 5. 浮世絵等の資料収集・整備、調査研究および出版

### 1) 作品の調査研究

- ① 展覧会開催のため収蔵品の調査研究を行った。また、特別展開催に向けて他の美術館、博物館、ならびに個人所蔵の関連作品の情報収集を行うとともに調査研究ならびに出品交渉を行った。
- ② 展覧会毎に、来館者の鑑賞体験の充実を支援するための解説パネルの原稿を執筆した。

### 2) 資料・図書の充実

- ① 収蔵品の調査研究、図録制作のため、写真撮影を行った。
- ② 作品管理の簡便化を図るため、主要収蔵品についてデジタルデータ化を進めた。
- ③ 展覧会開催および調査研究に必要な図書資料等を購入した。
- ④ 新収蔵品について作品情報データベース、美術品目録、作品カードの整備を行った。

### 3) 展覧会図録等の刊行

- ① 以下の展覧会の開催にあわせ、図録を刊行し、当館学芸員の研究論文を掲載した。

・「江戸の悪 PART II」展

渡邊 晃 「浮世絵に描かれた悪人たち」

・「没後160年記念 歌川広重」展

日野原 健司「歌川広重の画業」

赤木 美智 「歌川広重の天保初期の画業に関する一考察

—保永堂版東海道と『唐詩選画本』を手がかりとして」

- ② 「落合芳幾」展の開催にあわせ、リーフレットを刊行した。

- ③ 『太田記念美術館紀要 浮世絵研究 第9号』を刊行した。

- ④ 以下の書籍の監修、執筆を行った。

・『小原古邨』

監修:太田記念美術館 執筆:日野原健司 発行:株式会社東京美術(平成31年2月)

⑤ 『葛飾応為ガイドブック』を増刷した。

⑥ 平成29年9月に刊行の図録『葛飾北斎 富嶽三十六景－奇想のカラクリ』について、表紙の装丁を変更し、増刷した。

## 6. 美術館の運営

### 1) 美術館改修工事

① 美術館内電気事故に伴う近隣への波及事故防止対策として、高圧ガス開閉機器(UGS)設置工事および高圧ケーブル更新工事を行った。

② 昨年度に引き続き、老朽化した設備を中心に改修工事を行った。主な工事内容は下記のとおり。  
外灯電源回路引き換え工事、門扉修繕工事、屋根棟修繕工事、地下シャッター修繕工事 他

### 2) 施設の整備

① 来館者が安全、快適に過ごせるよう、適切な保全管理に努めた。

② 消防設備点検において誤作動の可能性のある感知器を特定し、交換した。

③ 視聴覚室の放送設備を更新した。

④ セキュリティシステムの配線工事および防犯カメラ用モニターの交換を行った。

⑤ 展示室内の空調用エアフィルターを交換した。

⑥ 収蔵庫空調の清掃および部品交換工事を行った。

## II 収益事業(美術館建物の一部を店舗として賃貸する事業)

美術館建物の地下の一部を、てぬぐい専門店である株式会社かまわぬに賃貸した。

### Ⅲ 理事会・評議員会等の開催

平成30年6月7日	平成30年度第1回理事会	
開催場所	南国酒家 原宿店	
決議事項	平成29年度事業報告および収支決算の承認の件 評議員会開催の件	原案通り可決 原案通り可決
報告事項	代表理事の職務執行状況の報告	
出席等	定足数5名、出席5名、欠席3名、監事出席2名	
平成30年6月22日	平成30年度第1回評議員会(決議の省略)	
決議事項	平成29年度事業報告および収支決算の承認の件	書面決議
平成31年3月14日	平成30年度第2回理事会	
開催場所	南国酒家 原宿店	
決議事項	2019年度事業計画および収支予算承認の件 資料収集等事業基金の資金繰入承認の件 美術館改修工事資金の積立承認の件	原案通り可決 原案通り可決 原案通り可決
報告事項	代表理事の職務執行状況の報告	
出席等	定足数4名、出席5名、欠席2名、監事出席2名	

### Ⅳ 官公庁への届出等

平成30年6月26日	内閣府へ事業報告等の提出(平成29年度)を電子申請
平成31年3月20日	内閣府へ変更の届出(理事の退任)を電子申請
平成31年3月24日	内閣府へ事業計画書等の提出(2019年度)を電子申請

## 平成30年度事業報告の附属明細書について

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2019年6月

公益財団法人 太田記念美術館